

森きょうへい・長崎市議会

令和7年最後の市議会定例会が閉会しました！

令和7年11月定例会(11/25～12/12)が閉会いたしました。教育厚生委員として、福祉・教育・原爆被曝対策、子どもに関する議論を1年間行ってきました。人の暮らしに直結する議案が多く、また保険制度などは知識が必要とされる分野です。議会運営委員会では議会運営全体に関わる議論をさせていただき大変勉強になりました。

▶市政一般質問

一般質問(60分)に登壇しました(通算5回目)

観光行政(宿泊税・バリアフリーツーリズム)、産後ケア制度、共育プロジェクト、公認インフルエンサー制度の設置、出島を生かしたまちづくり、生活地区の活性化について質問しました

▽アーカイブ



▶議第6号議案「長崎市議会議員定数条例の一部を改正する条例」議員定数1割減 条例改正可決

長崎市議会議員の定数は現在の40名から4名削減とし、2027年の長崎市議会議員選挙から**36名**になります。「議会制度検討会」で各会派が意見を示し、議会運営委員会で検討。11月定例会で条例改正の提案がなされ、**賛成多数(賛成36反対2)**で**可決**されました。削減しても、市民の声を拾い反映し、質の高い議会にしていく必要があります。(令和7年11月25日可決)



▶第213号議案「地方独立行政法人長崎市立病院機構第4期中期計画の変更の認可について」

8年ぶり長崎市議会本会議にて附帯決議-長崎みなとメディカルセンター(地方独立行政法人長崎市立病院機構)

2年連続で赤字(R5 ▲18億円、R6 ▲12億円)となり、繰越損失を含めた累積損失は▲31億円、資金残高は約24億円と、財務状況は深刻化しています。このまま経営が続けば、R8年3月に資金ショート(民間で言えば倒産)に陥る恐れがあります。今回、中期計画変更の認可にあたっては、病院機構関係者を参考人として招致し委員会で議論しました。その結果、市議会として附帯決議を付し、①職員数の適正化、②診療内容の適正化および経費節減、③議会への定期的な報告を求めました。

市から病院機構へは毎年約10億の運営負担金 ※1

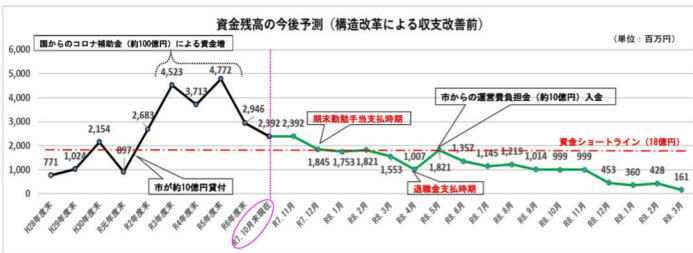
第4期中期計画の変更の必要性について

長崎みなとメディカルセンターの経常損益は、令和5年度▲18億円、令和6年度▲12億円(減損処理を含めた総損益▲31億円)となっており、また、資金残高も令和5年5月のピーク時には約60億円あったものが、現在、約24億円(令和7年10月末時点)まで減少し、厳しい財務状況となっている。

持続可能な病院経営を実現するため、次の①診療規模(患者数減に伴う病床数の削減)、②診療内容(診療科見直し)、③病床数の削減に伴う職員数の適正化の視点で機構の構造改革検証を行い、その結果を踏まえ、病院機構の第4期中期計画を変更する。

18 現金資金残高の推移

令和7年10月末の資金残高は約24億円となっており、**令和6年度下半期の状況が令和7年11月以降も続いたと仮定した場合の資金残高の推移**



なくてはならない医療機関だからこそ経営の安定、診療内容の適正化が求められる

Q&A議会用語 附帯決議とは？

可決された案件に対し事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるものです。

※1「運営費負担金」：救急医療・結核感染医療・小児周産期医療

過去と未来を
丁寧に
つなぐ



▶第180号議案「令和6年度長崎市一般会計歳入歳出決算」に対する討論

令和6年度決算認定

本会議にて新政ミライ会派にて認定討論を行い、各種意見要望を行いました。



改定前 : 393,743,400円
改定後 : 847,965,900円
増収見込 : 454,222,500円
約4億5400万円増収

▶長崎市議会・市役所から応援！新しい議会風景

青に染まった長崎市議会議場・応援Tシャツ

J1昇格を目指し、長崎市議会では「ALL NAGASAKI」のTシャツを着用し、機運情勢を図りました。議会では通常、上着・ネクタイ・議員バッチがルールとなっていますが、今回は特例として議会運営委員会に諮り、議員の同意を得て着用となりました。そして、後日、見事J1昇格を果たしたVファーレン長崎。おめでとうございます。感動をありがとうございます！



所管事項調査

宿泊税増税の検討

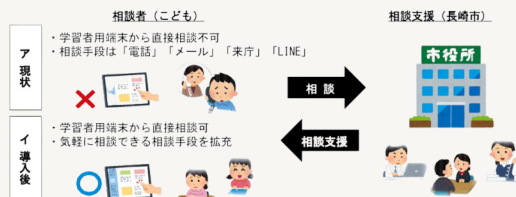
長崎市では宿泊税の増税を検討しており、改訂によって**約4億5千万円増収**を見込んでいます。今回の一般質問では、用途の明確化を要望しました。宿泊税は法定外目的税である以上、一般財源の単なる補填でなく、その目的に沿った予算執行が求められます！

1人1台学習者用端末を活用した相談アプリの導入状況

子どものSOSを見逃さない仕組み

心身の発達段階に応じた切れ目ない支援を行うため、R6年に設置した「長崎市子ども相談センター」では、いじめや不登校、ヤングケアラーなど多様な課題を抱える子どもへの相談支援を実施。支援の充実を図るため、**R7年度夏から学習者用端末(タブレット)を活用した「子ども相談アプリ」を導入し、令和7年度にモニター校で検証、R8年度以降の全校導入を目指しています。**委員会では、実績や相談内容の内訳が報告され、低学年では言語化が難しく相談につながりにくい課題が示されました。

→私からは、言葉にすることが難しい低学年だからこそ声を拾う仕組みが必要であり、チャットへの選択式項目の追加や、子どものSOSを見逃さないためのAI分析、大学等と連携したデータ検証などについて意見・提言を行いました。



相談実績

(ア) 相談件数

新規相談件数	275 件
のへ相談件数	578 件

(イ) 情報提供事案

学校種	自殺・希死念慮	虐待疑い	いじめ疑い	合計
小学校	1件	3件	0件	4件
中学校	2件	0件	1件	3件
合計	3件	3件	1件	7件

[発行・編集] 森きょうへい / 長崎市議会議員

1988年長崎市生/戸町保育園→戸町小・中→海星高校→佐賀大学→早稲田大学大学院/前会社員/強み：まちづくり(都市・経済地理学)とアート(文化芸術)、教育(修士号)が専門。2児の父として子育て奮闘中。2023年5月より長崎市議会議員として活動中！

SNS発信中！



▲ブログ他



▲Instagram



▲公式LINE



議会のことなど日頃の活動をSNSを通じて発信しています

森きょうへい・長崎市議会

令和7年最後の市議会定例会が閉会しました！

令和7年11月定例会(11/25～12/12)が閉会いたしました。教育厚生委員として、福祉・教育・原爆被曝対策、子どもに関する議論を1年間行ってきました。人の暮らしに直結する議案が多く、また保険制度などは知識が必要とされる分野です。議会運営委員会では議会運営全体に関わる議論をさせていただき大変勉強になりました。

▶市政一般質問

一般質問(60分)に登壇しました(通算5回目)

観光行政(宿泊税・バリアフリーツーリズム)、産後ケア制度、共育プロジェクト、公認インフルエンサー制度の設置、出島を生かしたまちづくり、生活地区の活性化について質問しました

▽アーカイブ



▶議第6号議案「長崎市議会議員定数条例の一部を改正する条例」議員定数1割減 条例改正可決

長崎市議会議員の定数は現在の40名から4名削減とし、2027年の長崎市議会議員選挙から**36名**になります。「議会制度検討会」で各会派が意見を示し、議会運営委員会で検討。11月定例会で条例改正の提案がなされ、**賛成多数(賛成36反対2)**で**可決**されました。削減しても、市民の声を拾い反映し、質の高い議会にしていく必要があります。(令和7年11月25日可決)



▶第213号議案「地方独立行政法人長崎市立病院機構第4期中期計画の変更の認可について」

8年ぶり長崎市議会本会議にて附帯決議-長崎みなとメディカルセンター(地方独立行政法人長崎市立病院機構)

2年連続で赤字(R5 ▲18億円、R6 ▲12億円)となり、繰越損失を含めた累積損失は▲31億円、資金残高は約24億円と、財務状況は深刻化しています。このまま経営が続けば、R8年3月に資金ショート(民間で言えば倒産)に陥る恐れがあります。今回、中期計画変更の認可にあたっては、病院機構関係者を参考人として招致し委員会で議論しました。その結果、市議会として附帯決議を付し、①職員数の適正化、②診療内容の適正化および経費節減、③議会への定期的な報告を求めました。

市から病院機構へは毎年約10億の運営負担金 ※1

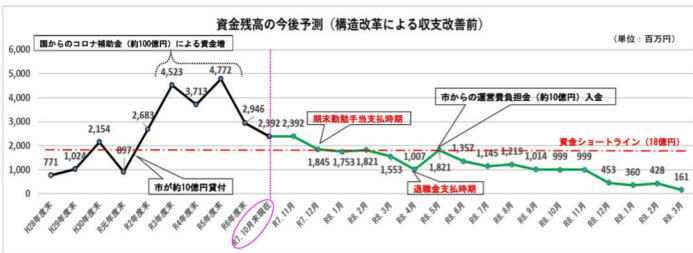
第4期中期計画の変更の必要性について

長崎みなとメディカルセンターの経常損益は、令和5年度▲18億円、令和6年度▲12億円(減損処理を含めた総損益▲31億円)となっており、また、資金残高も令和5年5月のピーク時には約60億円あったものが、現在、約24億円(令和7年10月末時点)まで減少し、厳しい財務状況となっている。

持続可能な病院経営を実現するため、次の①診療規模(患者数減に伴う病床数の削減)、②診療内容(診療科見直し)、③病床数の削減に伴う職員数の適正化の視点で機構の構造改革検証を行い、その結果を踏まえ、病院機構の第4期中期計画を変更する。

18 現金資金残高の推移

令和7年10月末の資金残高は約24億円となっており、**令和6年度下半期の状況が令和7年11月以降も続いたと仮定した場合の資金残高の推移**



なくてはならない医療機関だからこそ経営の安定、診療内容の適正化が求められる

Q&A議会用語 附帯決議とは？

可決された案件に対し事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるものです。

※1「運営費負担金」：救急医療・結核感染医療・小児周産期医療

過去と未来を
丁寧に
つなぐ



▶第180号議案「令和6年度長崎市一般会計歳入歳出決算」に対する討論

令和6年度決算認定

本会議にて新政ミライ会派にて認定討論を行い、各種意見要望を行いました。



改定前 : 393,743,400円
改定後 : 847,965,900円
増収見込 : 454,222,500円

約4億5400万円増収

所管事項調査

宿泊税増税の検討

長崎市では**宿泊税の増税**を検討しており、改訂によって**約4億5千万円増収**を見込んでいます。今回の一般質問では、用途の明確化を要望しました。宿泊税は法定外目的税である以上、一般財源の単なる補填でなく、その目的に沿った予算執行が求められます！



1人1台学習者用端末を活用した相談アプリの導入状況

子どものSOSを見逃さない仕組み

心身の発達段階に応じた切れ目ない支援を行うため、R6年に設置した「長崎市こども相談センター」では、いじめや不登校、ヤングケアラーなど多様な課題を抱える子どもへの相談支援を実施。支援の充実を図るため、**R7年度夏から学習者用端末(タブレット)を活用した「こども相談アプリ」を導入し**、令和7年度にモニター校で検証、R8年度以降の全校導入を目指しています。委員会では、実績や相談内容の内訳が報告され、低学年では言語化が難しく相談につながりにくい課題が示されました。

→私からは、言葉にすることが難しい低学年だからこそ声を拾う仕組みが必要であり、チャットへの選択式項目の追加や、子どものSOSを見逃さないためのAI分析、大学等と連携したデータ検証などについて意見・提言を行いました。



相談実績

(ア) 相談件数	
新規相談件数	275 件
のべ相談件数	578 件

(イ) 情報提供事案

学校種	自殺・希死念慮	虐待疑い	いじめ疑い	合計
小学校	1件	3件	0件	4件
中学校	2件	0件	1件	3件
合計	3件	3件	1件	7件

[発行・編集] 森きょうへい / 長崎市議会議員

1988年長崎市生/戸町保育園→戸町小・中→海星高校→佐賀大学→早稲田大学大学院/前会社員/強み：まちづくり(都市・経済地理学)とアート(文化芸術)、教育(修士号)が専門。2児の父として子育て奮闘中。2023年5月より長崎市議会議員として活動中！

SNS発信中！



▲ブログ他



▲Instagram



▲公式LINE



議会のことなど日頃の活動をSNSを通じて発信しています